



食と農の大切さを伝えたい そんな想いから生まれた 「ぐりとぐら」の巨大カステラ

地元産の素材をたっぷり使い
特注の大鉄鍋で地元の女性たちと
子どもたちがいっしょに
手づくりした巨大カステラ。
地元の女性たちが企画した
イベントを通じ、
食と農の大切さとともに、
素敵な思い出が、
子どもたちの心に刻まれました。

「よい食バク博」のさまざまな企画



◆巨大カステラの生地に使ったまごや牛乳は地元産で、子どもたちが力を合わせて生地をつくりました



◆地元のお米「みどりの風」でおにぎりづくり



◆新鮮な地元野菜をディップソースで味わう



◆原寸大の牛の模型で乳しほり体験コーナー

こんな活動もしています！

国際協力田運動

食料不足に苦しむ人々にお米を送る「国際協力田運動」

JA長野県は、マザーランドアカデミー・インターナショナル(NGO:東京)を通じ、飢餓に苦しむアフリカのマリ共和国にお米を送る「国際協力田運動」に平成10年から取り組んでいます。今年度は、55団体、約1400人の皆様のご協力により、約155aで作付けが行われ、約5.6tのお米を送っています。また、JA松本ハイランドでも「みどりの風 田んぼオーナー事業」で栽培したお米の一部(330kg)をマリ共和国へ送っています。



詳しい活動はこちら▼

国際協力田運動

検索



3月1日に行われた表彰式の様子

「地産地消」と「食育」をテーマに、地元の女性たちが自由な発想をかたちにし、子どもたちといっしょに活動しながら食と農の大切さを伝えていきます。

地元の女性たちを中心に構成されている同運営会議は、生産者と消費者が交流しながら地域の食や農について子どもたちとともに考えるイベント「よい食バク博」を毎年開催しています。日頃から子どもたちとふれあっている女性ならではの視点で、さまざまな人気ブー스를企画。地元産のコシヒカリを炊いたごはんに好みの具材を入れて参加者がおにぎりを作るコーナーをはじめ、地元産のたまご150個や牛乳を使い90センチの巨大鉄鍋で、絵本「ぐりとぐら」に登場する巨大カステラを作るなどの様々な参加型イベントを行っています。

JA長野県では、未来を担う子どもたちに食と農の大切さを伝えていくため、各地域で子どもたちの農業体験を中心とした様々な食農教育活動に取り組んでいます。その一環として平成25年度に「JA長野県食農教育優良組織表彰」を創設。今年度は「JA松本ハイランド女性参画センター運営会議」が受賞しました。

JA松本ハイランド女性参画センター運営会議の取り組みが、平成27年度JA長野県食農教育優良組織表彰を受賞しました。



JA長野県グループ

JA長野県農政対策会議



お問い合わせ先：JA長野中央会 地域農政部 農政対策課 〒380-0826 長野市北石堂町1177-3 TEL026-236-2030 E-Mail:nousei@chu.nn-ja.or.jp